



# スズユウ便り

令和2年9・10月号



コロナ禍での特別な暑い夏がようやく収まり、少しずつ秋めいてきました。思えば、去年の今頃は千葉県を中心に広範囲に住宅の瓦が飛ばされ、停電などおおきな被害をもたらした台風15号が上陸してからもう一年が経ってしまいました。

その後立て続けに記録的な豪雨も発生し、川の氾濫などさらに千葉県だけでなく多くの地域に甚大な被害をもたらし、少なくはなりませんが、一年経った今でも修理が出来ず、未だに屋根をブルーシートで覆ったお宅を見かけます。

多分に漏れず、弊社にご依頼いただいたお客様につきましても、コロナ感染症の影響による部材供給の遅延等により、修理が遅れご迷惑をおかけしておりますこと、この場を借りてお詫び申し上げます。弊社では、準備が整い次第順次対応をさせていただいておりますので、お待ちいただいているお客様にあっては今しばらくお待ちいただければと思います。



2019年9月に関東を襲った台風15号ですが、近年は台風上陸の回数が多く、「地球温暖化が進んで海の温度も上昇すると、台風はより強くなる」と言われています。つまり、毎年のように大きな被害が発生する可能性が高まっているといえます。

台風で大きな被害を出さないよう、まずできるのが「窓」の対策です。



**大きな被害を出さないためには『窓の対策』が必要！**

台風の暴風に対して住宅のウイークポイントになるのは「窓」です。しかし、風だけで窓ガラスが割れる心配は少なく、ガラスが割れる原因の多くは風で飛ばされたものがぶつかるため。気象庁の「風の強さと吹き方」によれば、細い木の枝が折れ、看板が落下・飛散、屋根材が飛ぶなどの被害が出始めるのは、瞬間風速30m/s以上で、これを超えると外装材が広範囲にわたって飛散するなど、きわめて危険な状態になります。

**寝室など2階の窓も危険。台風時、安心して就寝できるように対策を。**

風で吹き飛ばされたものが窓に直撃しガラスが割れると、その破片が凶器になって大けがに繋がる恐れがあります。また、窓ガラスが割れることで強い風が室内へ一気に流れ込み、屋根が吹き上がってしまうという危険性もあります。防犯を兼ねた1階窓の対策だけではなく、寝室などがある2階の窓も災害対策をおすすめします。



ガンゾーくん

## (有)スズユウ工務店

千葉市若葉区大宮町2841-1

TEL 043 (233) 6090

フリーダイヤル 0120-438-435

<http://www.suzuyu.biz/>



**窓ガラスにダンボールや養生テープを貼る？ちょっと待って！！**

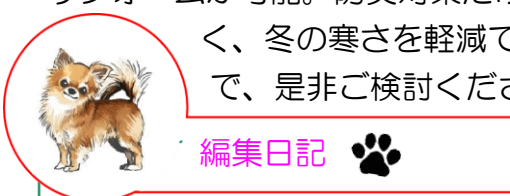
台風への備えとしてメディアでもよく紹介されるのが、窓ガラスにダンボールや養生テープを貼る対策です。応急処置として手軽にできるメリットはありますが、「窓ガラスが割れるのを防ぐ」ためではありませんので、安全性を高めるためには、窓ガラスをしっかりと守る対策が必要です。

**やはり「シャッターや雨戸」での対策が一番安心！**

お気軽にご相談ください



最近の住宅はシャッターや雨戸をつけていないところもありますが、窓をしっかりと守るのに最適なものは、やはり「シャッターや雨戸」です。飛来物が当たった際も窓ガラスが割れるのを防いでくれます。台風が来たとき、窓に電動シャッターが取り付けられていれば、ボタンひとつで簡単に窓をガードできます。シャッターや雨戸は、今ある窓に後付けで簡単にリフォームが可能。防災対策だけでなく、冬の寒さを軽減できるので、是非ご確認ください！



編集日記

以前からオパちゃんに会わせてかった、黒のラブラドルのニコちゃんが会いに来てくれました。二人とも穏やかな性格なのですぐに仲良しに・・・ニコちゃんを気に入って、自分から遊ぼうよ！とアピール。あんなに楽しそうなオパちゃんを見たのは初めてです。お散歩中もニコちゃんのそばを離れず、常に匂いを嗅いだりしていて、すごく嬉しそうでした♪小さいラブは相変わらずのマイペースでしたが(汗)。ニコちゃん、また、遊びに来てね (ひ)

